

令和5年度 幼保小連携推進園・校報告書 緑井幼稚園・緑井小学校

1 学校の課題

令和3年度・令和4年度は幼保小連携派遣教員が幼稚園に派遣され、「子供の学びと育ちの連続性を生かした指導の工夫」をテーマに幼保小連携を進めてきた。

互いの教育を知ることはある程度できてきたが、それを自らの実践に生かすという面では課題が残った。また、これらの取組は派遣教員がいる中での取組であり、加配がない中で同じように連携や接続を進めていくことができるのか、という点については未知数である。

2 研究主題

幼稚園・保育園からの小学校へのなめらかな接続のために
～子どもの育ちや学びの連続性を生かした指導の工夫を通して～

3 取組内容

(1) 幼児・児童の育ちや学びについて教職員の相互理解を深め、保育改善・授業改善を図る取組

○合同研修会の充実

- ・各連携保育園での取組発表及び意見交換
- ・幼保での関わりを実践に生かすための講演会の開催

「信頼関係を築くためのコミュニケーションの取り方（ゴードンメソッドを用いて）」
親業訓練協会 教師学上級インストラクター 三上かおり先生



○相互参観の充実

- ・保育園への参観は夏季休業中に行い、時間をかけて参観できるようにした。
- ・小学校への参観の機会（参観日・校内研修・学校へ行こう週間など）を伝え、1年生以外の学年への参観も広く呼びかけた。

(2) より効果的な「スタートカリキュラム」「接続カリキュラム」の取組

①「スタートカリキュラム」における工夫

○環境の工夫

- ・室内遊びグッズの活用
- ・ござの活用



○配列・時間等の工夫（添付のスタートカリキュラム参照）

○生活科「わくわくどきどきしょうがっこう」における工夫

- ・一通り学校探検を済ませた後、自分たちでもっと訪問したい教室を決めてグループで再度訪問させた。
- ・グループで得た情報を参観日で発表し、保護者にも知らせた。



②交流活動における工夫

- ・1年生1クラスに対して1園～2園と交流した。
- ・1年生は年間を通して園児と一年生のペアやグループを決めて交流した。



4 検証結果

(1) 教職員の指導に関する意識調査

「幼保小接続についての理解が深まった」

A とてもそう思う	40.0%
B そう思う	56.7%
C あまりそう思わない	3.3%
D 全くそう思わない	0.0%

「幼保小接続などつながりを意識した授業等取組を行った」

A とてもそう思う	30.0%
B そう思う	46.7%
C あまりそう思わない	20.0%
D 全くそう思わない	3.3%

(2) 1年生児童・保護者に対する意識調査

【1年生児童】

～7月なかよしアンケートより～
「学校は楽しい」

A はい	97%
B いいえ	3%

【1年生保護者】

～12月学校評価保護者アンケートより～
「お子さんは楽しく学校に行っている」

A とても当てはまる	68%
B だいたい当てはまる	26%
C あまり当てはまらない	6%
D ぜんぜん当てはまらない	0%

5 研究成果

(1) 昨年度までの2年間の取組及び今年度の様々な取組で、幼児・児童の育ちや学びについて教職員の相互理解は大変深まってきている。今年度の合同研修会後の感想では、「保育園での経験が入学後のいろいろな学びにつながっている。」というものが多く、学びの接続ということが意識された感想が多かった。保育参観後の感想では、「子供たちがわくわくして心地よくなるように、色合いや手触りなどにこだわっている。」「規律を基に活動が進む小学校とは少し違うので、その所でギャップが生まれるのだと思う。」「小学1年生になる前の時点でかなりのことができるのに、小1になったとたん、できないと決めつけて教師がいろいろなことをやりすぎているのかなと思った。」「アオギリを題材にした活動（アオギリを絵に描いて色を塗って切る）は小2とつながってよい。」など、育ちや学びの接続という視点での感想が大変増えてきている。

一方で、その幼児の育ちや学び等をどのように生かしていくかについては、約23%の小学校教員（特に高学年担任教諭）がどう生かしていくのかについて疑問に思っているようであった。幼稚園・保育園での接し方を生かすという面で合同研修を行ったが、そこを生かしきれていないという点において課題が残った。

(2) 1年生保護者は、児童が楽しく学校に通っているかどうかについて94%が肯定的な評価をしており、スタートカリキュラム等様々な学校の教育活動に対して満足し、楽しく学校生活を送ることができていると感じている。また、1年生児童も7月のアンケートで9割以上が「学校は楽しい」と回答している。さらに、この取組の直接の成果であるとは言えないが、1月現在1年生で登校を渋る等不登校傾向の児童はいない。これらのことから、安心を土台として自己発揮させていく本校の取組の成果が表れているのではないかと考える。

(3) 合同研修会等の各研修会において、保育園の先生方の参加が少ないことが課題である。幼稚園・小学校は夏休みに研修会を開催することができるが、保育園の先生方にとっては参加が難しい時期になるようである。引き続き、合同研修会だけでなく、参観日や校内研修会、学校へ行こう週間等の案内をし、小学校の様子を見ていただく機会を設けていきたい。

※本校のスタートカリキュラム、接続カリキュラム添付